



## 山口県農林水産部と県法人協役員との意見交換会を開催

山口県集落営農法人連携協議会は6月18日、山口県庁において、県農林水産部と県法人協役員との意見交換会を開催しました。

意見交換会には山口県・法人協・JAグループなど、35名が出席。集落営農の維持拡大について、共通認識を図り検討を深めるため、活発な意見交換がされました。



県法人協の山本勉生会長は、「集落の農地は集落で守るという理念のもと、経営維持・発展に向けた活動を行っている。米価下落など経営環境は大変厳しいが、6次産業化の取り組みを拡大するなど経営の安定につなげていきたい」とあいさつ。

県農林水産部の野村雅史部長は、「本県では新規就業者の確保・定着を図る担い手支援日本一対策を最重点施策として取り組んでいる。地域農業のリーダーとして活躍されている皆さんからの意見を施策に活かしていきたい」とあいさつ。

県法人協役員からは、法人間連携を進める上で補助金の対象とならない車両・機械への支援策や、新規雇用の支援・充実、後継者への引継ぎに係るICTシステムの必要性などの意見が出されました。

それに対し、県からは、新規就業者の確保と定住促進に向けた取組強化策として、法人間連携による経営の複合化・多角化や6次産業化、機械の共同利用によるコストダウン等の提案がありました。

意見交換会を通じ、県・法人協・JAグループが連携し、取組みを進めていくことを確認しました。



## ソリマチ農業簿記を活用した会計処理研修会を開催

山口県集落営農法人連携協議会は、7月15日（水）～17日（金）の3日間、山口市のサンフレッシュ山口において、『ソリマチ農業簿記を活用した会計処理研修会』を開催しました。

一時は台風11号の影響も心配されましたが無事に開催することができ、会員法人の方やJAの担当者など、3日間で42名が受講されました。

研修会の講師として、ソリマチ株式会社の岩下氏をお招きし、ソリマチ農業簿記ソフトを活用した日々の取引に係る仕訳の入力方法や、経営分析機能についてご説明いただきました。

受講者からは、実際にパソコンを動かしながら簿記ソフトの使用手順を学べたのでわかりやすかったという意見や、ソフトを活用した効果的な経営管理方法などについての質問が出るなど、充実した研修会となりました。



## 新規会員のお知らせ

平成27年4月～6月末の期間で、新たに10法人が本協議会に加入され、会員数は184となりました。

【周南】（農）光農会	【山口美祢】（農）ほんごうファーム
【山口中央】（農）生雲ウエストファーム	【長門大津】（農）きすな
【山口中央】（農）山口瀬戸内グループ	【長門大津】（農）おのじ営農組合
【山口美祢】（農）ねこれ	【あぶ萩】（農）河内
【山口美祢】（農）嘉万の里	【あぶ萩】（農）佐々並中央